

平成28年度事業報告書

事務局経営戦略課

1 複数館を利用した公益目的事業の推進

(1) 学習目的での施設利用の推進

各施設を学習目的で活用してもらうため、展示物等を活用した授業支援プログラムを作成し、利用をお願いした。また、学習目的での施設利用を目的にバスを借り上げ、利用促進を図った。

実施小中学校数 8校 参加人数 630名（教諭30名 児童600名）

(2) 子どものための音楽会の開催

需要が高い乳幼児とその保護者を対象とした演奏会を、複数の施設を管理運営する利点を生かし、年間を通して各施設において開催した。

実施回数 10回 参加者数 延べ 1,999人

(3) 1日子ども館長の実施

子どもたちが「1日こども館長」として各施設の職場体験をすることで、科学・自然・歴史・文化に興味関心をもち、将来の職業選択のきっかけづくりをつくることを目的に、当協会が管理運営する各施設において、科学・歴史・芸術文化分野の体験活動を実施した。

実施回数 6回 参加者数 29人

2 地域活性化への取り組み

(1) 回想法による福祉連携推進事業の実施

地域の方々からの寄贈によって収集した昔の生活用品等を活用し、「回想法」による福祉分野との「博福連携」に引き続き取り組んだ。認知症支援のイベントにも参加し、当協会の取り組みの告知および職員の研修を行った。

また、回想法貸出セットの体制を整備し、介護サービス施設への貸出を行った。

貸出実績 12回（1回につき1週間）

(2) 地域ミュージアム化構想推進事業の実施

地域資源の発掘や再認識ができる企画の研究を進めるプロジェクトチームを設置し、協会の管理する各施設も地域のミュージアムとして認識されるよう、また、「地域が一つのミュージアム」となるような事業に取り組んだ。

内 容 「傘ぶらりウォッチング」

実施回数 1回 参加者数 9人

(3) 出前授業等の実施

各施設が、地域における教育文化施設として認識され、地域とのつながりや地域活性化に貢献することを目的に、学校や地域団体に対してアウトリーチ活動を実施した。

実施プログラム数 9プログラム

実施小中学校数 45校 実施団体数 18団体 延べ4,466人

3 協会経営の自主性、自立性の確保

(1) 公益財団法人宮崎文化振興協会モニターによるモニタリング

利用者の意見を協会の事業に反映させるため、1市2町（宮崎市・綾町・国富町）の在住者を対象にモニターを公募し、アンケート協力や協会への提言等、協会運営への意見をいただいた。9月と1月に意見交換会を実施し各施設の改善に生かした点等を報告した。

意見交換会 2回 モニター人数 20人

(2) 各種研修制度の実施

職員の資質向上のため、協会全体の年間研修計画を作成し研修を実施した。

協会全職員研修、法規研修、特別研修（認知症サポーター講座）を実施した。

研修回数 11回 職員参加者数 延べ 206人

(3) 研究事業の実施

協会職員が、指定管理者の業務達成に貢献できると認められる研究について、職員にその費用の一部又は全部を補助し実施した。

また、平成29年2月15日（水）に研究事業成果発表会を開催し、応募研究の中から優秀研究を選出し、平成29年2月23日（木）に研究事業表彰式を実施した。

研究本数 7本 研究者数 延べ 11人

4 広報活動について

(1) 宮崎文化振興協会レターの発行

当協会の日頃の事業成果について、役員等の協会関係者にタイムラグなくお伝えするために、毎月発行した。

発行回数 12回

(2) 協会機関誌「まなぶんか」の発行

単なるイベントの開催日時の紹介だけでなく、イベントの目的や開催するに至った経緯等を利用者に詳しく紹介する協会機関誌を年4回発刊し、友の会、県内小・中学校、各支援学校、博物館等施設、1市2町（宮崎市・綾町・国富町）の宮崎銀行各支店、入館者等に配布した。

A4版8ページ、カラー印刷、季刊で各5,000部（年4回）

宮崎科学技術館

1 管理運営事業

平成26年度から3か年の指定管理を受け、平成28年度においても展示室、パソコン研修及びプラネタリウム事業等の円滑な運営を行うための保守・点検業務などを実施し、健全で効率的な管理運営に努めた。

(1) 利用状況

開館日数	307日	プラネタリウム投映日数	304日
入館者数	160,285人	利用者数	71,503人
1日平均入場者数	522人	1日平均利用者数	235人

(2) 利用内訳

① 入館者数（小人・大人）内訳

小人	84,913人 (53.0%)
大人	75,372人 (47.0%)
合計	160,285人

② 入館者数（個人・団体）内訳

個人	135,721人 (84.7%)
団体	24,564人 (15.3%)
合計	160,285人

③ 県内教育利用内訳

・広域圏内

幼稚園・保育園	6,851人 (47.4%)
小学校	5,534人 (38.4%)
中学校	578人 (4.0%)
高等学校	103人 (0.7%)
一般（参考）	1,364人 (9.5%)
合計	14,430人

・広域圏外

幼稚園・保育園	1,075人 (13.8%)
小学校	5,194人 (66.9%)
中学校	145人 (1.9%)
高等学校	0人 (0.0%)
一般（参考）	1,352人 (17.4%)
合計	7,766人

④ 県外団体利用内訳

幼稚園・保育園	162人 (6.8%)
小学校	1,038人 (43.8%)
中学校	67人 (2.8%)
一般 (参考)	1,101人 (46.5%)
合計	2,368人

⑤ 県外地方別団体利用内訳

地域	団体数	人数	比率%
九州・沖縄	54	2,333	98.5
四国	0	0	0.0
中国	0	0	0.0
関西	0	0	0.0
中部	0	0	0.0
関東	1	35	1.5
東北	0	0	0.0
北海道	0	0	0.0
合計	55	2,368	100.0

⑥ 九州内県別団体利用内訳

地域	団体数	人数	比率%
福岡	0	0	0.0
佐賀	0	0	0.0
長崎	1	39	1.7
熊本	7	276	11.8
大分	1	30	1.3
鹿児島	45	1,988	85.2
沖縄	0	0	0.0
合計	54	2,333	100.0

2 常設展示事業

アポロ11号月面着陸船原寸大模型をはじめとした大型の展示物のほか、先端科学技術を集約した展示物は約100点にのぼる。来館者が体験を通して科学の不思議や自然の素晴らしさに気付くことに努め、科学に対する興味・関心を深めさせることができた。

特に、老朽化した展示物については、コストを抑えつつ修繕を行うなど、最大限の効果的活用を努めた。

3 教室事業

(1) 科学実験・工作教室

子どもたちに「科学の芽」を育てるためのサイエンス教室や、高齢者と一般の人を対象にした「生きがい科学館」、子どもから大人まで楽しめるサイエンスショーや工作教室などを、JSCや宮崎大学のボランティア学生とともに実施した。

① チャレンジサイエンス	実施回数	30回	参加者数	延べ	6,947人
② ダ・ヴィンチ工房	実施回数	6回	参加者数	延べ	79人
③ 生きがい科学館	実施回数	8回	参加者数	延べ	76人
④ 不思議なサイエンスショー	実施回数	10回	参加者数	延べ	1,770人
⑤ 宮崎少年少女発明クラブ	実施回数	20回	参加者数	延べ	580人
⑥ ロボットクラブ (前期・後期)	実施回数	20回	参加者数	延べ	596人
⑦ どろだんご教室	実施回数	2回	参加者数	延べ	171人
⑧ 科学技術週間工作教室	実施回数	2回	参加者数	延べ	283人

⑨ 自由研究サポート教室	実施回数	1回	参加者数	2人
⑩ なんでもサイエンス(インストラクター)	実施回数	20回	参加者数 延べ	1,954人
⑪ コスモランド教室	実施回数	11回	参加者数 延べ	2,497人

(2) パソコン講座

パソコンについての基礎的な技能を習得するとともに、パソコンに対する興味・関心を高める場として、小学生から高齢者までの幅広い人を対象に開催した。

① ハガキ作成講座	実施回数	4回	参加者数 延べ	122人
② パワーポイント講座	実施回数	2回	参加者数 延べ	123人
③ パソコン入門講座	実施回数	5回	参加者数 延べ	358人
④ 続パソコン入門講座	実施回数	3回	参加者数 延べ	106人
⑤ ワード基礎講座	実施回数	5回	参加者数 延べ	515人
⑥ 続ワード講座	実施回数	5回	参加者数 延べ	218人
⑦ ワード応用講座	実施回数	1回	参加者数	103人
⑧ エクセル基礎講座	実施回数	5回	参加者数 延べ	522人
⑨ 続エクセル講座	実施回数	4回	参加者数 延べ	209人
⑩ エクセル応用講座	実施回数	1回	参加者数	103人
⑪ すいすいパソコン	実施回数	26回	参加者数 延べ	1,592人
⑫ 友の会パソコン講座	実施回数	8回	参加者数 延べ	163人

(3) プラネタリウム親子学習教室

学校での天文学習の補充と深化を目的に、小学4年生及び6年生、中学生向けの学習プログラムを行った。大変多くの応募があり、事後の感想も好評であった。夏休みの自由研究の題材として月の記録方法なども解説をした。

実施回数	小学4年生対象	2回	参加者数 延べ	421人
	小学6年生対象	2回	参加者数 延べ	271人
	中学生対象	1回	参加者数	69人

4 プラネタリウム事業

九州最大級である直径27mのプラネタリウムに3万8千個の星々を映し出す恒星投映機や全天ビデオ投映システムを生かし、一般番組や学習番組の投映を行った。

入場者数	65,537人 (※通常投映番組のみの観覧者)
投映回数	1,042回

(1) 一般番組

- ・永久投映権をもっている番組

「星になったチロ」「オズのまほうつかい」「むしむし星空大行進」

「今夜銀河の片隅で」「DARK」

- ・ 27年度から引き続き放映した番組
「ドラえもん 宇宙ふしぎ大探検2」「ナットのスペースアドベンチャー」
「ポケットモンスターXY」「Back To The Moon」「おじやる丸」
- ・ 28年度から放映した新番組
「紙兎ロペ」「妖怪ウォッチ」「鷹の爪」「宇宙兄弟」「ノーマン・ザ・スノーマン」

(2) 学習番組

- 「ピーターパンとほしのくにへいこう」(幼児向け)
- 「スタジオ444」(小学4年生向け)「ポワンとフーニャンの宇宙調査隊」(小学6年生向け)
- 「この空に願いを込めて…」(中学生向け)

(3) 自主製作番組

- 「ひむか神話～太陽の女神・アマテラス」

(4) 星空教室

プラネタリウムホールを利用して、幼児から一般を対象に、季節の星座や神話、天文の基礎を紹介し、天体や宇宙の基礎的な認識を深めるとともに、興味・関心をもってもらうよう努めた。

実施回数 10回 参加者数 延べ 505人

(5) 中秋の名月大観望会

宮崎科学技術館に隣接する中央公園広場で星空の観望会を計画した。しかし、曇天のためホームページで中止を案内した。中止を知らず来場された方に、雲間から垣間見た月を観望していただいた。

(参考 参加者 67名)

(6) おはよう月の観望会

夏休み期間中に、午前中に見える日中の月を望遠鏡で観望した。日中の青空の中に見える白い月に、子ども達が驚く様子が見られた。3日間の計画であったが天候の関係で、2日の実施となった。

実施回数 2回 参加者数 延べ 90人

(7) スターウォッチング教室

1市2町(宮崎市、綾町、国富町)の団体を対象に、応募団体の希望の場所へ出向き、天体の基礎的な学習と実際の天体観察を行った。望遠鏡などを用いて体験してもらうことで天体や宇宙への興味・関心をもってもらうよう努めた。

実施回数 5回 参加者数 延べ 676人

(8) スターウォッチング教室 in まちなか

中心市街地の活性化及び広報の場として、市街地(橘通3丁目交差点 MRTテラススタジオ前広場)や天ヶ城公園(高岡町)、ホエルカム(佐土原町)で計画した。しかし、天候の関係で橘通で計画した観望会のみの実施となった。多くの市民や高校生が月や星の輝きの美しさを堪能でき、天文へ興味をもっていただいた。

実施回数 2回 参加者数 延べ 670人

(9) 特別投映

神武大祭に合わせて、特別投映を行った。当館の自主制作番組「ひむか神話～太陽の女神・アマテラス」を2回投影し、合わせて職員が準備した画像や、普段は見ることのできない星空を投映した。神武大祭のパンフレットにも掲載していただき、周知を図った。

実施回数 2回 参加者数 延べ 59人

5 文化振興事業

(1) 星空と音楽の夕べ

宮崎出身者や現在宮崎で活躍している音楽家の活動の場を提供するとともに、市民文化活動高揚に資するため、プラネタリウムホールで開催した。音楽の生演奏と星の解説、そしてCD音楽の解説という3部構成でのコンサートを実施した。

実施回数 2回 参加者数 延べ 313人

(2) キラキラ星空コンサート

「星空と音楽の夕べ」より気軽に楽しんでもらおうと、平成18年度からスタートしたコンサートであり、県内で活躍されている演奏家によるコンサートを実施し、幼児から高齢者までの幅広い年齢層の人に楽しんでもらった。

実施回数 2回 参加者数 延べ 347人

(3) 星空さんぽ in プラネタリウム

多くの市民がプラネタリウムをさらに利用しやすくするために、閉館後の時間帯に、星空の生解説を含め、魅力的なテーマを設定した投映を行った。職員でテーマに合わせた映像や参加型の企画を準備し、来館者が、より星空に親しめる内容にした。更に、希望者には屋外で星空観望会も実施した。

実施回数 5回 参加者数 延べ 703人

(4) スターフェスティバル

多目的ホールを利用して、来館者を対象に、月をテーマに月面の地形や、月に関する研究、探査や開発についてパネルや映像コンテンツを展示し、天体や宇宙の基礎的な認識を深めるとともに、興味・関心をもってもらえるよう努めた。また、サイエンスカフェやワークショップなどを行い、宇宙への興味・関心を高めてもらう良いきっかけとなった。

実施回数 1回(18日間) 参加者数 延べ 8,485人

(5) えほんの読み聞かせ in プラネタリウム

プラネタリウムホールの有効活用を目的として、幼児から一般を対象に、ドームスクリーンを利用した大型絵本の読み聞かせや映像による演出を通して、プラネタリウムホールを幅広く体感してもらうように努めた。

実施回数 12回 参加者数 延べ 1,218人

(6) キッズ・プラネタリウム

子育て世代のプラネタリウム利用と、子育て支援を目的として、通常暗いプラネタリウムを明るくし、子どもが楽しめる内容で星や星座の紹介を行った。

実施回数 6回 参加者数 延べ 1,041人

6 イベント事業

(1) 主催事業

①企画展「光の遊園地」(新規事業)

フォログラムやプロジェクションマッピング、残像を使った回転盤など光を利用した不思議な現象を展示した。来場者の動きに合わせる映像等もあり、大人から幼児まで幅広い年代で楽しめる内容になっていた。期間中は多くの来場者で賑わい、楽しんでいただいた。

開催期日 平成29年2月4日(土)～2月19日(日)

入場者数 延べ 5,155人

②こいのぼり掲揚式

近隣の幼稚園・保育園を招き、正面玄関前でこいのぼり泳がせ式を行った。また、招待した園児には手作りのこいのぼりをプレゼントした。

開催期日 平成28年4月15日(金)

入場者数 子ども 44人、大人 4人 計 48人

③「科学と遊ぼう!こどもの日」

全館を無料開放し、こどもの日にちなんだ多彩な催しを実施した。

開催期日 平成28年5月5日(木・祝)

入場者数 延べ 4,450人

④地球を守ろう環境展(第7回)

地球環境問題やリサイクルなどについての興味・関心を高めてもらうために、「再生可能エネルギー」をテーマにパネルを作成し、常設した。期間中に宮崎大学工学部の協力による「太陽電池教室」や、みやざきエコの会及び当館職員による実験・工作教室を行った。

開催期日 平成28年5月21日(土)～6月5日(日)

入場者数 子ども 2,354人、大人 1,764人 延べ 4,118人

⑤「感謝のつどい 七夕まつり」

全館を無料開放し、七夕にちなんだ多彩な催しを実施した。

開催期日 平成28年7月3日(日)

入場者数 延べ 1,740人

⑥命の科学フェア

「なるほど!なっとく!人体の科学ゾーン」と「なるほど!なっとく!防災の科学ゾーン」の2つのエリアで心臓マッサージ体験や心電図検査などと、防災グッズ工作や起震車の体験など体験を通じた学習を計画した。命について科学の目で考える機会となった。

開催期日 平成28年 7月24日(日)

入場者数 子ども 474人、大人 342人 計 816人

⑦南極の氷贈呈式&サイエンスショーおよび関連パネル展

南極にまつわるパネル展示や、自衛隊・極地研究所からの南極の氷贈呈式・南極の氷を使った実験を実施した。

開催期日 パネル展 平成28年7月25日(月)～7月31日(日)

贈呈式 平成28年7月31日(日)

入場者数 子ども1,227人、大人1,146人 延べ 2,373人

⑧WRO Japan 2016宮崎大会

子どもたちが市販のキットで自律型ロボットを製作し、そのロボットを使って競技会を実施した。ロボットを制御するコンピュータのプログラムも子どもたちに開発させた。地方大会として小・中・高の3部門を実施し、それぞれの部門の代表チームが国内決勝大会(東京)に出場した。

開催期日 平成28年8月3日(水)

入場者数 子ども 143人 大人 222人 計 365人

⑨青少年のための科学の祭典2016・宮崎大会

小中学校・高校の理科教諭、大学関係者と連携し、科学や科学技術の不思議さや楽しさを身近に体験できる実験ブースの出展をし、科学の面白さを実感してもらうとともに、科学および科学技術に対する関心を高める活動を実施した。

開催期日 平成28年8月5日(金)～7日(日)

入場者数 延べ 8,588人

⑩教員のための博物館の日

教職員や大学の教育学部生、博物館関係者を対象に博学連携を目的としたワークショップを行った。また、プラネタリウムの教育的な効果について紹介し、当館の更なる活用について提案を行った。

開催期日 平成28年8月17日(水)

参加者数 教職員10人、大学生3人、博物館関係者13人 計 26人

⑪子どものための音楽会(事務局経営戦略課事業)

乳幼児とその保護者を対象とした演奏会を、地元アーティストの生演奏により開催した。需要が高くたくさんの方の来場があった。

開催期日 ① 平成28年 9月 8日(木)

② 平成29年 1月27日(金)

内 容 ① ゆりてるシアターによる人形劇

② 響座による演奏

参加者数 ① 子ども137人、大人145人 延べ 282人

② 子ども 85人、大人 81人 延べ 166人

⑫JSCフェスティバル&科学技術館シルバーdays

敬老の日になみ、65歳以上の方と同行された家族を対象に、全館無料開放を実施した。

開催期日 平成28年9月17日(土)～19日(月:祝)

入場者数 子ども 283人、大人 193人 延べ 476人

⑬星景写真展「星の風景」

日本星景写真協会の会員の撮影した59点の星景写真の展示を行った。南九州では初の開催となり、美しい星空と景色の写真は多くの来場者に感動を与えた。

開催期日 平成28年9月28日(水)～10月10日(月:祝)

入場者数 子ども 662人、大人801人 延べ 1,463人

⑭ ナイトミュージアム

館内を夜間開館し、ハロウィンに合わせて科学の現象や、館内の展示物を使って謎解きしながら、科学への興味・関心を高めた

開催期日 平成28年10月29日(土)

入場者数 延べ 238人

⑮ 第23回宇宙画作品展

児童・生徒の創造性の育成を図り、宇宙及び宇宙開発に関する興味・関心を高めるため、宇宙をテーマにした絵画作品を展示した。小・中学生から2,793点の応募があり、内42名の入賞者を対象に、表彰式を実施した。

開催期日 平成28年11月9日(水)～11月23日(水:祝)

入場者数 子ども 389人、大人 533人 延べ 922人

⑯ 運営ボランティア育成事業

運営ボランティアの資質向上を目的として、活発なボランティア活動が見られる大分県立美術館にて視察及び研修、交流会を行った。

開催期日 平成28年11月13日(日)

参加者数 延べ 7人

⑰ サイエンスカフェ

各種イベントと関連のある科学者を招き、その開催時期に合わせて、サイエンスカフェを実施した。科学者と市民を結ぶ仲介役としての科学技術館の活動であり、科学の普及・啓発に努めた。

また、今後の事業で中心市街地の活性化への取組みを支援するため、若草通りに開設された宮崎大学の施設を使用する試みを行った。

開催期日 ①平成28年8月27日(土)

②平成29年3月18日(土)

内 容 ①月を科学する!

②ロボット研究の今! from 宮崎大学

会 場 ①宮崎科学技術館 多目的ホール

②宮崎大学まちなかキャンパス

講 師 ①国立天文台 松本晃治氏

②宮崎大学工学部教授 川末紀功仁氏、田村宏樹氏

参加者数 ①子ども 9人、大人 14人 延べ 23人

②子ども 19人、大人 16人 延べ 35人

⑱ リコー・サイエンスキャラバン in 宮崎科学技術館

宮崎市と包括協定を締結したリコー・ジャパンの協力で、コピーの仕組みが体験的に学べるワークショップを開催した。親子でオリジナルのステッカーを作りながらコピーの仕組みを学んだり、リコーのデジタルコンテンツで楽しむ姿が見られた。

開催期日 平成29年2月26日(日)

参加者数 子ども 182人、大人 133人 延べ 315人

⑲ パブリックビューイング・ロケット打ち上げ観望会

JAXA 種子島宇宙センターから打ち上げられる衛星や補給船、ロシアから打ち上げられるソユーズ宇宙船など、打ち上げや宇宙飛行士の活動を実況するインターネットの視聴および、実際の打ち上げの噴気雲の観望会を行った。特に今年度は、大西宇宙飛行士の活動の実況などのパブリックビューイングや観望会が実施できた。

開催期日	①平成28年 7月 7日 (木)		
	②平成28年 7月 9日 (土)		
	③平成28年10月30日 (日)		
	④平成28年11月 2日 (水)		
	⑤平成29年 3月17日 (金)		
内 容	①大西宇宙飛行士打ち上げ パブリックビューイング		
	②大西宇宙飛行士 ISS ドッキング パブリックビューイング		
	③大西宇宙飛行士帰還 パブリックビューイング		
	④ひまわり9号打ち上げパブリックビューイング		
	⑤H-2Aロケット33号機打ち上げ観察会		
参加者数	①子ども 45人、大人 45人	延べ	90人
	②子ども 120人、大人 91人	延べ	211人
	③子ども 6人、大人 8人	延べ	14人
	④子ども 2人、大人 8人	延べ	10人
	⑤子ども 7人、大人 14人	延べ	21人

⑩アウトリーチ事業

館外で実験教室や授業支援を行い、教育施設の支援や、イベントや市街地の活性化の取組みを支援した。

・フローランテ宮崎 コドMONO工場			
参加者数	子ども 32人、大人 22人	延べ	54人
・若草通り「街市」6月			
参加者数	子ども 170人、大人 130人	延べ	300人
・どろだんご教室 (宮崎東小学校)			
参加者数	子ども 27人、大人 17人	延べ	43人
・若草通り「街市」8月			
参加者数	子ども 250人、大人 100人	延べ	350人
・鉦脈社 秋の大感謝祭			
参加者数	子ども 60人、大人 40人	延べ	100人
・ダジックアース 月の不思議 (宮崎大学教育学部附属小学校)			
参加者数	子ども 68人、大人 55人	延べ	123人
・未来みやざき子育て応援フェスティバル2016			
参加者数	子ども 190人、大人 100人	延べ	290人
・若草通り「街市」12月			
参加者数	子ども 40人、大人 100人	延べ	140人
・若草通り「街市」3月			
参加者数	子ども 75人、大人 112人	延べ	187人

(2) 共催事業 () は主催者名

①航空教室 (航空大学校)	実施日 平成28年 7月16日(土) 平成29年 1月28日(土)
	入場者数 子ども 46人、大人 62人、延べ 108人
②大西宇宙飛行士交信イベント (日本宇宙少年団)	実施日 平成28年 8月30日(火)
	入場者数 子ども 96人、大人 109人、延べ 205人
③宮崎ミニ水族館 (宮崎大学農学部)	実施日 平成28年 9月21日(水)～25日(日)
	入場者数 子ども 516人、大人 645人、延べ1,161人
④県学校発明くふう展 (宮崎県発明協会)	実施日 平成28年10月14日(金)～16日(日)
	入場者数 子ども 415人、大人 383人、延べ 798人
⑤宮崎市中学校毛筆展 (宮崎市中学校書写部会)	実施日 平成28年11月1日(火)～11月6日(日)
	入場者数 子ども 204人、大人 350人、延べ 554人
⑥県特別支援学校アート展 (県特別支援学校アート展事務局)	実施日 平成28年11月29日(火)～12月4日(日)
	入場者数 子ども 161人、大人 292人、延べ 453人
⑦宮崎地区サイエンスコンクール展 (科学夢チャレンジ事業宮崎地区実行委員会)	実施日 平成28年12月10日(土)～25日(日)
	入場者数 子ども 307人、大人 483人、延べ 790人
⑧宮崎市中学校硬筆展 (宮崎市中学校書写部会)	実施日 平成29年1月13日(金)～22日(日)
	入場者数 子ども 410人、大人 455人、延べ 865人
⑨ディスカバリーキッズ科学実験館 (宮崎ケーブルテレビ(株))	実施日 平成29年 3月 5日(土)
	入場者数 子ども 95人、大人 94人、延べ 189人

宮崎市歴史資料館

【みやざき歴史文化館】

1 管理運営事業

平成26年度から3か年の指定管理を受け、平成28年度のみやざき歴史文化館の管理運営業務を行い、施設の維持管理及び展示物等の円滑な運営を行うため保守・点検業務などを実施し、健全で効率的な管理運営に努めた。

(1) 利用状況

開館日数	310日
入館者数	64,786人
1日平均入館者数	209人

(2) 利用内訳

① 入館者数（小人・大人）内訳

小人	34,762人（53.7%）
大人	30,024人（46.3%）
合計	64,786人

② 入館者数（個人・団体）内訳

個人	56,948人（87.9%）
団体	7,838人（12.1%）
合計	64,786人

③ 県内教育利用内訳

・広域圏内

幼稚園・保育園	1,494人（42.6%）
小学校	2,011人（57.4%）
中学校	0人（0.0%）
合計	3,505人

・広域圏外

幼稚園・保育園	0人（0%）
小学校	30人（100%）
中学校	0人（0%）
合計	30人

④ 県外団体利用内訳

一般	117人（46%）
小学校	137人（54%）
中学校	0人（0%）
合計	254人

⑤ 県外地域別団体利用内訳

地域	団体数	人数	比率%
九州	5	179	70.5
四国	1	8	3.1
近畿	2	67	26.4
中国	0	0	0.0
中部	0	0	0.0
関東	0	0	0.0
東北	0	0	0.0
北海道	0	0	0.0
合計	8	254	100.0

⑥ 九州内県別団体利用内訳

地域	団体数	人数	比率%
福岡	0	0	0.0
佐賀	0	0	0.0
長崎	0	0	0.0
熊本	1	22	12.3
大分	0	0	0.0
鹿児島	4	157	87.7
沖縄	0	0	0.0
合計	5	179	100.0

2 常設展示事業

宮崎の考古・歴史、民俗・民俗芸能、神話、民具等に関する資料を展示し、見て、触れて、楽しく学びながら歴史・文化に親しみ、郷土を理解する場を提供した。

3 企画展示事業

(1) 企画展『歴史文化館のあゆみ展』

平成27年度に行った各種体験学習や本館を訪れた小学校等の説明や体験活動等の様子をパネルで紹介した。

開催期日 平成28年4月16日(土)～5月8日(日)

入場者数 延べ 7,839人

(2) 企画展『今昔白黒写真帖』

高齢者を中心とした幅広い年代を対象に、大正～昭和50年代の宮崎市中心部・旧4町の風景を収めた写真パネルの展示や昭和のニュース映画の放映を行った。

開催期日 平成28年5月21日(土)～6月19日(日)

入場者数 延べ 4,481人

(3) 夏の企画展『子どものための夏休み自由研究 みやざきのれきし・ふしぎ』

小学校高学年の子どもたちを対象に、「絵画土器のふしぎ」や「横穴墓のふしぎ」など夏休みの自由研究や課題に資することを目的とした展示を行った。

開催期日 平成28年7月16日(土)～9月4日(日)

入場者数 延べ 17,693人

(4) 秋の企画展『名所見聞展』

江戸時代の各地の名所図会や大名行列図、旅で使用された往来手形など、宮崎市域の歴史や民俗に関連するふしぎにまつわる資料を展示した。

開催期日 平成28年10月15日(土)～平成28年12月11日(日)

入場者数 延べ 8,682人

(5) 企画展『宮崎の神社散歩』

宮崎市内の神社の社殿写真や由緒などをパネルで紹介し、神話や伝承、歴史、民俗を現在に伝える市域の神社を知っていただく機会とした。また、期間中には関連事業として宮崎市内の神社をめぐる歴史探訪を実施した。

開催期日 平成28年11月5日(土)～12月25日(日)

入場者数 延べ 7,069人

(6) 企画展『収蔵品展-先人からの贈り物-』

昨年度当館に寄贈された資料を中心に、佐土原人形や戦前・戦後の教科書などの収蔵資料を一挙に公開した。

開催期日 平成29年1月28日(土)～3月20日(月・祝)

入場者数 延べ 7,415人

4 歴史文化振興・教育普及事業

(1) 講座

①宮崎の歴史文化講座

宮崎の歴史・文化について、歴史研究家の方々を講師として実施した。

実施回数 5回

参加者数 延べ 122人

②古文書講座

みやざき歴史文化館ボランティア会員5名を講師として、『年中行事秘録 四季法禮』・『上田騷動甚秘録』の解読演習を行った。

実施回数 15回

参加者数 延べ 363人

(2) 史跡探訪会

県内の史跡や建造物等の文化財を訪ね、それぞれの文化財に対する理解と関心を深めるとともに、文化財への愛護意識を啓発する目的で実施した。

【1回目・3回目】小林・えびの方面の史跡めぐり

開催期日 ①平成28年9月17日(土) ③平成28年11月26日(土)

見学地 東麓石窟仏・享保水路太鼓橋・めがね橋・田の神像・木崎原古戦場等

講師 みやざき歴史文化館学芸員

参加者数 ①20人 ③18人

【2回目・5回目】西都・児湯方面の史跡めぐり

開催期日 ②平成28年10月29日(土) ⑤平成29年3月11日(土)

見学地 持田古墳群・日向国府跡・国分寺跡・木喰五智館・長谷観音・鹿野田神社

講師 みやざき歴史文化館学芸員・長谷観音住職

参加者数 ②19人 ⑤17人

【4回目】宮崎の神社めぐり

開催期日 平成28年12月17日(土)

見学地 奈古神社・皇宮神社・愛宕神社・宮崎天満宮・一葉稻荷神社・住吉神社

講師 みやざき歴史文化館学芸員

参加者数 19人

(3) 体験学習

サツマイモの栽培・収穫等の農耕体験学習や昔の人々の暮らしと関連した「竹を使ったおもちゃ作り」等の製作体験学習を行うもので、子どもと保護者、一般の参加者を対象に実施した。

農耕体験学習	実施回数	3回	※畝作りは雨天のため中止
	参加者数	延べ	126人
製作体験学習	実施回数	23回	
	参加者数	延べ	607人

(4) 学校教育との連携

学校教育において体験学習が重視される中で、当館でも学校教育への支援活動を行った。主なものは、隣接する住吉南小学校「歴史文化体験クラブ」が当館を利用したの体験学習(全13回)や、教育委員会の助成制度等を利用したの当館見学(19校)があった。見学の際は「昔の道具」「厩屋」などの展示説明や石臼体験などの体験学習も行った。

5 イベント事業

(1) こどもの日イベント

鎧・兜の試着、紙兜作り、メンコ作り、まが玉作り、竹とんぼ・鶯笛作り、史跡公園ウォークラリー、野点ほか多数のイベントを実施した。

開催期日	平成28年5月3日(火・祝)～5月5日(木・祝)
参加者数	延べ 5,648人

(2) 夏休みイベント

① 「史跡公園 生き物採集教室」

開催期日	平成28年8月6日(土)
内 容	蓮ヶ池史跡公園をめぐりながら、昆虫などの生き物を採集
参加者数	雨天のため中止

② 「魚のつかみ取り」(2回)

開催期日	①平成28年7月31日(日) ③平成28年8月21日(日)
内 容	館の前にプールを設置し、アユのつかみ取りを実施
参加者数	①100人 ②100人

③ 「夏休みの楽しい工作」(2回)

開催期日	①平成28年8月5日(金) ②平成28年8月26日(金)
内 容	①万華鏡作り ②マグネット魚釣り
参加者数	①28人 ②23人

(3) 春のイベント

藍染のハンカチ作りや紙の工作、各種クイズラリーなどを実施した。

開催期日	平成29年3月18日(土)～19日(日)
参加者数	延べ 2,151人

(4) 子どものための音楽会（事務局経営戦略課事業）

協会が管理運営する6施設において、乳幼児とその保護者が気軽に参加できる演奏会を、地元アーティスト等による生演奏により開催した。各施設の文化・教育機関としての価値を高め、利用促進の機会とした。

開催期日	平成28年10月19日（水）
内 容	和太鼓「響座」による演奏
参加者数	子ども81人 大人72人 計153人

6 資料収集、調査・研究

- (1) 資料収集について公共施設を中心に情報提供を呼びかける広報を行い、市民より歴史・民俗資料48点の寄贈があった。
- (2) 資料管理方法について調査・研究を行い、報告をまとめた。

【宮崎市佐土原歴史資料館】

1 管理運営事業

平成26年度から3か年の指定管理を受け、平成28年度の宮崎市佐土原歴史資料館の管理運営業務を行い、施設の維持管理及び展示物等の適切な管理運営を行うため保守・点検業務などを実施し、健全で効率的な管理運営に努めた。

(1) 利用状況

開館日数	305日
入館者数	20,943人
1日平均入館者数	69人

(2) 利用内訳

①入館者数（小人・大人）内訳

小人	5,876人 (28.1%)
大人	15,067人 (71.9%)
合計	20,943人

②入館者数（個人・団体）内訳

個人	15,086人 (72.0%)
団体	5,857人 (28.0%)
合計	20,943人

③県内教育利用内訳

・広域圏内

幼稚園・保育園	1,585人 (55.4%)
小学校	880人 (30.7%)
中学校	399人 (13.9%)
合計	2,864人

・広域圏外

幼稚園・保育園	0人 (0%)
小学校	0人 (0%)
中学校	0人 (0%)
合計	0人

④ 県外団体利用内訳

一般	573人 (100.0%)
小学校	0人 (0.0%)
中学校	0人 (0.0%)
合計	573人

⑤ 県外地方別団体利用内訳

地域	団体数	人数	比率%
九州・沖縄	11	447	78.0
四国	0	0	0.0
中国	0	0	0.0
関西	2	103	18.0
中部	0	0	0.0
関東	0	0	0.0
東北	1	23	4.0
北海道	0	0	0.0
合計	14	573	100.0

⑥ 九州内県別団体利用内訳

地域	団体数	人数	比率%
福岡	0	0	0.0
佐賀	0	0	0.0
長崎	0	0	0.0
熊本	1	23	5.2
大分	1	31	6.9
鹿児島	9	393	87.9
沖縄	0	0	0.0
合計	11	447	100.0

2 常設展示事業

(1) 鶴松館

江戸期の佐土原城二の丸居館跡の発掘調査をもとに想像復元した「鶴松館」では、佐土原藩にまつわる掛軸・屏風・鎧兜などや、佐土原島津家の調度品を展示するとともに、地元で伝承される佐土原人形を展示している。藩主が日常政務をとる場の外観を再現した書院では、古代から近代にかけての佐土原の歴史を各時代の資料を展示し解説している。

(2) 佐土原出土文化財管理センター

ここでは、展示研修室で農具・民具などの民俗資料の常設展示と、企画展示室で企画展を開催している。屋外（中庭）では、佐土原藩の「御普請所」建物の基礎部分の出土遺構を保存し、また収蔵庫等においては佐土原町域の文化財（考古・歴史・民族資料）の保存・収蔵をしている。

(3) 商家資料館 旧阪本家

江戸期から味噌や醤油の醸造販売を手がけていた商家「旧阪本家」（明治 38（1905）年築重層入母屋造（平入）（市指定有形文化財・市景観重要建造物））を資料館として、1階に机や銭箱などを配した帳場を再現し、2階に当時の商いに関する資料や城下の町並みの古写真を展示している。

3 企画展示事業

(1) 企画展「佐土原人形展～人形とともに歩む町佐土原～」

商家資料館 1階に雛壇を設置し、佐土原人形（節句人形・風俗人形）や他地域の土人形（饅頭喰い人形）、五月人形の武者飾りなどを展示した。

開催期日 平成 28 年 4 月 23 日（土）～5 月 22 日（日）

入場者数 延べ 410 人

(2) 企画展「収蔵品展～佐土原歴史資料館コレクション～」

当館の資料収集・保存活動の周知として、三条実美書幅などの書画、佐土原分限帳等の史料、前年度に寄贈された古銭類を展示した。

開催期日 平成 28 年 7 月 2 日（土）～9 月 4 日（日）

入場者数 延べ 1,072 人

(3) 企画展「幕末・維新期の佐土原」

幕末・維新期の佐土原藩と薩摩藩との関係や佐土原藩の業績にまつわる当館所蔵の史・資料を展示した。

開催期日 平成28年11月5日(土)～平成29年1月22日(日)

入場者数 延べ 1,539人

4 歴史文化振興・教育普及事業

講座

(1) 歴史文化講座「郷土を学ぶ」

古代の天皇や日向、旧石器から縄文時代の佐土原地域の遺跡、江戸期の佐土原藩の情勢、佐土原の近代や寺社等に関する考古・歴史・民俗学の講座を実施した。

実施回数 5回

参加者数 延べ 130人

(2) 古文書講座

みやざき歴史文化館ボランティアの会員4名を講師に、「松尾文書」・「佐土原藩戊辰戦没記」等の解説講座を実施した。

実施回数 8回

参加者数 延べ 133人

(3) 体験学習

城下町佐土原に古くから伝わる工芸品等の製作及び城跡の自然環境を活用し、昔のくらしと文化にまつわる体験学習を、子どもとその保護者及び一般の参加者を対象に実施した。

実施回数 10回(9講座) ※この内、野鳥の観察は中止

参加者数 延べ 181人

(4) 史跡探訪会・文化財探訪バスツアー

当館近隣の史跡や文化財、及び伊東氏・島津氏ゆかりの地を探訪し、それぞれの文化財に対する理解と関心を深めるとともに、郷土愛を育み、文化財愛護の意識を高めた。

『第1回』史跡探訪会

開催期日 平成28年9月25日(日)

講師 鶴松館ガイドの会会員

見学地 福島港跡・十六烈士墓地・曾我殿の墓など

参加者数 19人

『第2回』史跡探訪会

開催期日 平成28年10月23日(日)

講師 鶴松館ガイドの会会員

見学地 西郷札印刷所跡・児玉平格墓地・島津御殿跡及び町田家跡

参加者数 16人

『第3回』史跡探訪会

開催期日 平成28年11月6日(日)

講 師 宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館学芸員
見 学 地 穆佐城跡・高木兼寛生誕地・月知梅公園・宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館
参加者数 15人

『第4回』文化財探訪バスツアー

開催期日 平成28年11月27日(日)
案 内 各社宮司・高原町観光協会職員
見 学 地 霞神社・皇子原神社・狭野神社等
参加者数 19人

5 イベント事業

(1) 佐土原くじら子どもまつり(共催事業)

佐土原城の駅(いろは館)が平成27年2月にオープンしたのを機に、いろは館と共催にて子供を対象に市内外からの集客を図り、鎧・兜を試着し史跡文化財等を巡るイベントを実施し全箇所訪れた子どもに粗品を提供した。

開催期日 平成28年5月5日(木・祝)
参加者数 186人

(2) 佐土原花しょうぶ祭り(共催事業)

佐土原花しょうぶまつり実行委員会との共催にて、鶴松館裏庭の花しょうぶ園で第12回花しょうぶ祭りを実施した。

開催期日 平成28年5月28日(土)～29日(日)
内 容 花しょうぶ園付近にて開会行事を行い、また野点・大正琴の演奏・コーラス等を実施し、隣接する鶴松館では地元の音楽愛好家による楽器の演奏や唱歌等を行い、佐土原城の駅においては軽トラ市等を実施し集客を図った。
参加者数 延べ 2,532人

(3) 佐土原人形作り(共催事業)

佐土原人形伝承会との共催で、郷土の伝統的工芸品である佐土原人形を後世に末永く伝えていく事を目的に、毎月1回人形作りを佐土原出土文化財管理センターにて実施した。

開催期日 平成28年5月～平成29年2月(毎月第2木曜日)
参加者数 18人

(4) 島津太鼓フェスティバル(共催事業)

平成26年2月に開催した「島津入城410年祭」を機に、地元の歴史を引き継ぎまちおこしを行う絶やさないように、「島津太鼓フェスティバル実行委員会」との共催で、毎年1回イベントを実施している。当館はイベントにて佐土原藩島津家に関するパネル展を行った。

開催期日 平成29年2月11日(土・祝)
参加者数 大人111人、子ども19人 延べ 130人 ※ただし、パネル展の見学者数

(5) 神代独楽回し大会(自主事業)

江戸時代から佐土原藩の下級武士の内職として作られ、端午の節句の贈答品として伝えられてきた神代独楽を使ったこま回し大会を開催した。

開催期日 平成29年1月7日(土)

内 容 佐土原伝統的工芸品保存会協力のもと、児童の部と一般の部に分けて、こまが回っている時間を競い、優勝者に賞品を贈った。

参加者数 計 18人

(6) 子どものための音楽会（事務局経営戦略課事業）

協会が管理運営する6施設において、乳幼児とその保護者が気軽に参加できる演奏会を、地元アーティスト等による生演奏により開催した。各施設の文化・教育機関としての価値を高め、利用促進の機会とした。

開催期日 ①平成28年6月1日（水）

②平成28年12月7日（水）

内 容 ①Music Cocktailによるバンドセッション

②リベラハーブアンサンブルによるハーブとフルートとの合奏唱

参加者数 ①子ども62人、大人64人 延べ 126人

②子ども45人、大人39人 延べ 84人

6 資料収集、調査・研究

(1) 資料収集

市民より佐土原人形や島津啓次郎写真等、計33点の寄贈を受けた。

(2) 資料調査

旧佐土原藩士家の系図等の歴史資料の調査を数回ほど実施した。

【宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館】

1 管理運営事業

平成26年度から3か年の指定管理を受け、平成28年度の宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館の管理運営業務を行うとともに施設の維持管理及び展示物等の確実な保存、保管を行うため、保守・点検業務などを実施し、健全で効率的な管理運営に努めた。

(1) 利用状況

開館日数	306日
入館者数	23,565人
1日平均入館者数	77人

(2) 利用内訳

① 入館者数（小人・大人）内訳

小人	9,504人 (40.3%)
大人	14,061人 (59.7%)
合計	23,565人

② 入館者数（個人・団体）内訳

個人	19,401人 (82.3%)
団体	4,164人 (17.7%)
合計	23,565人

③ 県内教育利用内訳

・広域圏内

幼稚園・保育園	165人 (4.4%)
小学校	3,542人 (95.6%)
中学校	0人 (0.0%)
合計	3,707人

・広域圏外

幼稚園・保育園	0人 (0.0%)
小学校	11人 (100.0%)
中学校	0人 (0.0%)
合計	11人

④ 県外団体利用内訳

小学校	0人 (0.0%)
中学校	0人 (0.0%)
一般	219人 (100.0%)
合計	219人

⑤ 県外地域別団体利用内訳

地域	団体数	人数	比率%
九州	5	201	91.8
四国	0	0	0.0
中国	0	0	0.0
近畿	0	0	0.0
中部	0	0	0.0
関東	0	0	0.0
東北	0	0	0.0
北海道	0	0	0.0
海外 (香港)	1	18	8.2
合計	6	219	100.0

⑥ 九州内県別団体利用内訳

地域	団体数	人数	比率%
福岡	0	0	0.0
佐賀	0	0	0.0
長崎	0	0	0.0
熊本	0	0	0.0
大分	0	0	0.0
鹿児島	5	201	100.0
沖縄	0	0	0.0
合計	5	201	100.0

2 常設展示事業

大淀川とともに生きてきた旧高岡町の人々の生活ぶりや薩摩藩の外城として栄えた江戸時代の高岡、穆佐の武家社会の様子などを資料や映像などの展示を通して紹介している。見て、触れて、楽しく学びながら歴史・文化に親しみ、郷土愛を培う場を提供した。

3 企画展示事業

(1) 企画展「高岡草花さんぽ」

開催期日 平成28年4月23日(土)～5月22日(日)

入場者数 延べ 2, 358人

内 容 植物の視点から高岡の歴史・民俗花の見どころを紹介する展示や関連するワークショップ(草木染め・草だんご作り)を行った。

(2) 企画展「回想たかおか展」

開催期日 平成28年6月4日(土)～7月3日(日)

入場者数 延べ 1, 069人

内 容 当協会が推進する回想法推進事業と関連し、旧高岡町域の古い記録(写真・公民館報)などの展示を行った。

(3) 企画展「天ヶ城蔵出し展」

開催期日 平成28年7月23日(土)～9月22日(木・祝)

入場者数 延べ 1, 868人

内 容 高岡郷土の家柄に伝わる絵図や襖文書のほか、郷土の偉人高木兼寛関連資料などを展示した。このほか、関連ワークショップを実施した。

(4) 企画展「なつかしのおやつ展」

開催期日 平成28年10月15日(土)～11月23日(水・祝)

入場者数 延べ 2, 102人

内 容 当協会主催の回想法事業と関連し、昭和初期から1970年代の「おやつ」や「あそび」をテーマにした展示を行った。このほか、なつかしのおやつ作りやレコードコンサートといった関連ワークショップを行った。

(5) 企画展「なつかしい！知恵がつまった昔の道具展」

開催期日 平成28年12月10日（土）～平成29年2月19日（日）

入場者数 延べ 5,749人（ただし、授業支援の人数を含む）

内 容 小学校3年生の社会科で取り扱う「古い道具とむかしの暮らし」等の学習に資することを目的として当館所蔵の古民具や写真等を展示した。このほか、冬の草花を楽しむ企画としてサザンカの草木染めを実施した。

4 歴史文化振興・教育普及事業

(1) 古文書講座

黒木弘一氏を講師に招き、明治維新以降の社会情勢についての古文書資料の解説を行った。

実施回数 全6回 参加者数 延べ 38人

(2) 体験学習

伝統的なおもちゃを中心とした製作や草木染め、芋ほり、かまど炊飯、ミニ門松作りなどの体験学習を行うもので、主に宮崎市近郊在住の子どもとその保護者を対象に実施した。

実施回数 全9回 参加者数 延べ 289人

(3) 天ヶ城歴史文化講座

①史跡めぐり

史跡や資料館を訪ね、歴史・文化に対する理解と関心を深めるとともに文化財愛護意識を高める目的で実施するものである。今回は小林、えびの地区の文化財や史跡をめぐるバスツアーを行った。

開催期日 平成29年3月12日（日）

講 師 当館学芸員・都於郡地域まちづくり協議会・木城町史跡ガイドボランティア

見学地 都於郡城跡・新田原古墳群（百足塚古墳公園）・西都原古墳群・城山公園（高城跡）・高城合戦古戦場跡・宗麟原供養塔・高鍋大師・持田古墳群

参加者 28人

②歴史講演会

講師を招き、旧高岡町域に関連する歴史・民俗分野の講演会や現地見学（穆佐城城散策）を全5回実施した。

実施回数 5回

参加者数 延べ 85人

(4) 授業支援事業「むかしの道具たち」

資料館に収蔵している昔の道具を活用し、小学校の社会科における「変わってきた人びとの暮らし」の学習等の充実に資することを目的として実施した。

対 象 宮崎市、綾町、国富町内の小学校

方 法	事前に学校へカタログを配布し、申し込みのあった学校に道具を運搬して、当方の管理下で道具の活用を支援した。(うち10件については、当館にて実施) 授業においては、古い道具を見たり触れたりする見学体験活動を十分行ったのち、児童の質問に応じて、道具についての解説を行った。
実施回数	全34回実施
参加者数	延べ 2,986人

5 イベント事業

(1) 秋はしっとり天ヶ城

創作神楽を公演している日向橋寿獅子七人衆を招き、当館2階展示室を講演会場として神楽の上演を行ったほか、クイズラリー、野点、輪投げ、くじなどの縁日コーナー、竹ぼっくり、竹とんぼ、コマ回し、シャボン玉などの遊びコーナーなどを設けた。

期 日 平成28年11月23日(水・祝)

参加者数 延べ 624人

(2) 子どものための音楽会(事務局経営戦略課事業)

協会が管理運営する6施設において、乳幼児とその保護者が気軽に参加できる演奏会を、地元アーティスト等による生演奏により開催した。各施設の文化・教育機関としての価値を高め、利用促進の機会とした。

開催期日 ①平成28年5月18日(水)

②平成29年3月15日(水)

内 容 ①協会職員を中心にしたグループによるセッション

②永吉愛さんによる演奏

参加者数 ①子ども134人、大人128人 延べ 262人

②子ども64人、大人63人 延べ 127人

6 資料収集、調査・研究

歴史・民俗資料を中心とした資料3点の寄贈があった。

大淀川学習館

1 管理運営事業

平成26年度から3か年の指定管理を受け、大淀川学習館の適切かつ円滑な管理運営業務を行うため、展示物の工夫等を行うとともに、施設の維持管理、保守・点検などを実施し、健全で効率的な管理運営に努めた。

(1) 利用状況

開館日数	309日
入館者数	183,485人
1日平均入館者数	594人

(2) 利用内訳

① 入館者数（小人・大人）内訳

小人	100,935人 (55.0%)
大人	82,550人 (45.0%)
合計	183,485人

② 入館者数（個人・団体）内訳

個人	163,294人 (89.0%)
団体	20,191人 (11.0%)
合計	183,485人

③ 入館者数（広域圏内 学校団体・広域圏外 学校団体・一般団体）内訳

・ 広域圏内 学校団体

幼稚園・保育園	6,097人 (62.8%)
小学校	3,555人 (36.5%)
中学校	0人 (0%)
高等学校	15人 (0.2%)
特別支援学校	0人 (0%)
大学・短期大学	46人 (0.5%)
合計	9,713人

・ 広域圏外 学校団体

幼稚園・保育園	36人 (1.7%)
小学校	1,870人 (88.2%)
中学校	4人 (0.2%)
高等学校	0人 (0%)
特別支援学校	211人 (9.9%)
大学・短期大学	0人 (0%)
合計	2,121人

・ 一般団体

医療・福祉	3,107人 (37.2%)
教育	1,862人 (22.3%)
その他	3,388人 (40.5%)
合計	8,357人

④ 県外団体利用内訳

小人	130人 (49.8%)
大人	131人 (50.2%)
合計	261人

⑤ 県外地方別団体利用内訳

地域	団体数	人数	比率%
九州・沖縄	6	230	88.1
四国	0	0	0
中国	0	0	0
関西	0	0	0
中部	0	0	0
関東	1	6	2.3
東北	0	0	0
北海道	0	0	0
海外 (韓国)	1	25	9.6
合計	8	261	100.0

⑥ 九州内県別団体利用内訳

地域	団体数	人数	比率%
福岡	1	47	20.4
佐賀	0	0	0
長崎	0	0	0
熊本	1	12	5.2
大分	0	0	0
鹿児島	4	171	74.4
沖縄	0	0	0
合計	6	230	100.0

2 展示事業

(1) 常設展示

大淀川及びその流域の自然、文化、歴史などについて、みて、ふれて、楽しみながら河川環境に対する学びを深めるため、季節に応じた生体の展示を行った。また、エントランスホールでは、メキシコサラマンダー（ウーパールーパー）など、珍しい生体も展示した。

(2) 生体展示

① 自然楽習園

自然楽習園では、子どもたちの自然を観察する力を向上させるため、園内に小川を再現し、チョウの食草や蜜源植物を育てている。季節ごとのチョウの姿を自然に近い状態で再現しており、学習効果を高めるために、生体の状況に応じた説明板の設置など、解説の工夫も行っている。平成16年度からチョウの飼育業務を外部委託しており、常時100頭以上の個体を維持している。平成28年度の総放蝶数は4,934頭に及んだ。

② 生体展示ホール

360度観察可能な円型水槽が2台設置されている。水槽内には、日向灘で見られる海水魚と他地域の海水魚を比較展示している。来館者の中心となる小さな子どもたちに人気のある生体を充実させ、また、子どもたちの視線の高さも考慮しながら、より観察しやすい場所に配置換えするなどの工夫を行った。

③ ホタル展示室

ホタルビオトープのリニューアルをはじめとするホタル羽化率向上の取り組みの結果、自館内で49匹のホタルの羽化に成功した。また、成虫だけでなく、長い期間を過ごす幼虫の姿の観察活動を促すことで学習効果を高めることができた。

(3) 企画展示

① 特別企画展 「水の生き物と仲良くなろう！ザリガニ展」

内 容 生き物とのふれあいを通して生命の素晴らしさに気づかせるとともに、在来種と外来種について正しい知識をもたせ、大淀川流域の自然を大切にしようとする意識を育てるために、アメリカザリガニを多数展示し、ザリガニ釣りを体験したりする活動を行った。

- 開催期日 平成28年4月9日(土)～6月12日(日)
入場者数 延べ 40,250人
- ② 特別企画展 「森の生き物と仲良くなろう!カブトムシ・クワガタムシ展」
内 容 大淀川流域や世界で見られるカブトムシやクワガタムシの生態や生息環境についての理解を深め、昆虫への興味・関心を高めるために、カブトムシを自然に近い状態で放し飼いにするとともに、夜間の活動のようすも観察することができるように遮光できるコーナーをつくり展示した。
開催期日 平成28年7月2日(土)～8月31日(水)
入場者数 延べ 61,956人
- ③ 企画展 「ちょっぴり怖い生き物展」
内 容 ヘビやゴキブリなど、日ごろあまり観察する機会の少ない生き物についての理解を深めるため、生体の展示を行った。
開催期日 平成28年9月24日(土)～10月30日(日)
入場者数 延べ 14,732人
- ④ 特別企画展 「水の生き物と仲良くなろう!ドクターフィッシュ体験」
内 容 様々な水の生き物の一つとして、人の角質を食べてくれる珍しい魚「ドクターフィッシュ」を多数用意し、設置したプールでの体験活動を行った。
開催期日 平成28年9月10日(土)～10月16日(日)
入場者数 延べ 20,080人
- ⑤ 企画展 「でっかくまなぼう 小さな生き物展」
内 容 生き物への興味・関心を高めるため、身近な動植物をマクロ撮影し、色や形をわかりやすく伝えるとともに、肉眼では見ることができない微細なつくりとその役割がわかる展示を行った。
開催期日 平成28年10月22日(土)～11月27日(日)
入場者数 延べ 11,775人
- ⑥ 企画展 「カラー魚拓への誘い」
内 容 カラー魚拓の展示を通して、魚の形や色、模様などの特徴を鮮やかに伝え、魚類への興味・関心を高めるために、地元の愛好家たちの作品を展示した。
開催期日 平成28年12月3日(土)～平成29年1月9日(月・祝)
入場者数 延べ 8,038人
- ⑦ 企画展 「幸せかもん!カメカメ展」
内 容 新年を迎えるにあたって、古来より縁起の良い生き物とされるカメを展示し、カメにまつわる昔話なども織り交ぜたパネル展示も行った。カメに直接ふれることのできるイベントも開催した。
開催期日 平成29年1月4日(水)～1月29日(日)
入場者数 延べ 8,265人
- ⑧ 企画展 「県産材積み木で遊ぼう!」
内 容 宮崎県産材で作製した「からから積み木」を大量に準備し、自由な発想のもと家族等で作品を制作し、完成品と一緒に写真撮影をするなどした。
開催期日 平成29年1月14日(土)～3月26日(日)
入場者数 延べ 23,138人

- ⑨ 企画展 「春一番！ひな山」
内 容 大淀川流域の民俗文化への興味・関心を高めるために、大淀川清流域の綾町で育まれた「ひな山」をエントランスホールに展示した。
開催期日 平成29年2月4日（土）～3月5日（日）
入場者数 延べ 11,088人

(4) 作品募集と展示

- ① 作品展 第16回 大淀川流域の写真展
内 容 流域の自然の姿への関心を高め、自然を大切にする心を育てるために、大淀川流域の動植物・風景等の写真を募集・展示した。
応募数 601点
開催期日 平成28年9月10日（土）～10月2日（日）
入場者数 延べ 13,030人
- ② 作品展 第22回 大淀川流域の動植物画コンクール入賞作品展
内 容 大淀川流域の動植物に対する興味・関心を高めるとともに、動植物を観察する力を育てるために、大淀川流域に生息・生育する動植物の精密画を募集・展示した。
応募数 2,425点
開催期日 平成28年10月8日（土）～11月23日（水・祝）
入場者数 延べ 17,965人
- ③ 作品展 第12回小・中学校川の学習展
内 容 大淀川流域の環境に対する関心を高めるため、小中学校で行われている総合的な学習の時間等でまとめた河川に関する実態等の学習成果を募集・展示した。
応募数 1点
開催期日 平成28年12月1日（木）～平成29年1月9日（月・祝）
入場者数 延べ 8,293人

(5) 川のシアター

- 内 容 大淀川の自然環境への興味・関心を高めるため、新たに2番組を作成し、7本の番組（A 大淀川の自然を訪ねて、B 大淀川の水と生き物たち、C 大淀川の生い立ちと生き物、D 母なる川～大淀川～ E 小笠原の海 F 大淀川水辺のおさんぽ G 大淀川の虫たち）をオリジナルの立体ハイビジョンにて上映した。
上映回数 1,802回
観覧人数 38,081人

① 定常上映

平日は一日5回、休祝日は一日6回、定時に上映した。

② 特別上映

団体上映：団体の来館時間に応じ、また、都合がつく限り番組も調整して上映した。

臨時上映：夏季休業日などの繁忙期には、上映回数を増やした。

(6) 里山の楽校

多目的施設「杉の家」、地層観察コーナー、野草コーナーなどを設置し、動植物の観察、地層観

察など、幼稚園や保育所等の園児、小学校の児童が中心に活用した。下北方浄水場の造成工事にもなう里山の楽校の改修が行われ、第二食草園が整備された。

3 学校対応事業

学校、保育所等の教育、保育課程に沿った支援活動を行うことによって、教育効果を高めることを目的として実施した。

(1) 授業支援

対 象 幼稚園・小学校等
実施回数 14回
参加者数 延べ 1,079人
内 容 チョウの生態や地層等の学習について、本物の良さを最大限生かしつつ、館で作成したワークシートを用いて学習指導を行った。

(2) 指導者支援

対 象 小・中学校教諭等
実施回数 2回
参加者数 延べ 29人
内 容 チョウとメダカについての生態観察や飼育方法に関する内容について、先生方に講義・演習を行った。

(3) 子ども会・PTA支援

対 象 子ども会やPTA関係者等
実施回数 11回
参加者数 延べ 771人
内 容 展示に関する説明や自然をテーマにした簡単な工作活動を行った。

(4) 出前授業等

対 象 児童館や地域づくり協議会等
実施回数 10回
参加者数 延べ 230人
内 容 植物を使ったものづくりや野外活動・生き物の講座を行った。

4 教室事業

自然に対する興味・関心を高めるとともに、環境に対する理解を深めることを目的として行った。

(1) 環境教室

対 象 小学生以上
実施回数 4回(※川の生き物で水質調査は、雨天により中止)
参加者数 延べ 58人
内 容 「ホテル環境調査」「わたしたちのくらしと水の環境学習」「大淀川水質環境パックテスト」「大淀川源流から巡る自然・文化・環境教室」を行った。

(2) 飼育・観察教室

対 象 小学生以上
実施回数 4回(※バスで行くオオムラサキ野外観察会は、雨天により中止)
参加者数 延べ 116人

内 容 「メダカの飼育・観察教室」「明りに集まる昆虫観察」「カブトムシ・クワガタムシの飼育教室」「水辺の生きもの観察会」を行った。

(3) 活動教室

対 象 小学生以上

実施回数 7回

参加者数 延べ 244人

内 容 「食べられる野草さがしてみよう!」「ミツバチのハチミツを採取しよう!」「アユの稚魚放流しよう!」「大淀川河口で釣りをしよう!」「大淀川でカヌーをしよう!」「ハーブティーを楽しもう!」「シイタケの駒打ちをしよう!」を行った。

(4) ものづくり教室

対 象 小学生以上

実施回数 12回

参加者数 延べ 259人

内 容 「ペットボトルで工作しよう!」「伝統あるホタルかごを作ろう!」「昆虫標本を作ろう!」「石で工作しよう!」「植物標本を作ろう!」「貝殻で工作しよう!」「植物でウェルカムボードを作ろう!」「野鳥の巣箱を作ろう!」「牛乳パックで年賀はがきをつくろう!」「まつぼっくりでクリスマスツリーを作ろう!」「カラー魚拓を製作しよう!」「ミツロウでオリジナルキャンドルを作ろう!」を行った。

(5) 園児教室

対 象 幼稚園や保育所等の園児

実施回数 26回

参加者数 延べ 1,341人

内 容 生体を見たり触れたりする活動と簡単な工作活動を行った。

5 イベント事業

連休や学校の休業日を利用して、学習館の利用を促進するとともに、自然に親しみ、水環境に対する関心を高めることを目的として行った。

(1) 季節のイベント

対 象 全来館者（内容により年齢制限を設けているものもある）

実施回数 12回

参加者数 延べ 589人

内 容 「ザリガニ釣りに挑戦」「カブトムシの幼虫を育てよう」「ミニ釣り大会」「カブトムシ・クワガタムシのクイズ大会」「カブトムシ・クワガタムシのすもう大会」「メダカすくい大会」「アユのつかみどり大会」「大淀川ウォークラリー」「水辺の楽校紙飛行機大会」「ふれあいもちつき大会」「昆虫輪投げ大会」「大淀川学習館検定」を行った。

(2) ふれあいウィークエンド

対 象 全来館者

実施回数 24回

参加者数 延べ 881人

内 容 「紙コップを使って遊ぼう」「ミニ鯉のぼりを作ろう」「新聞紙でかぶと飾りを作ろう（2回）」「葉っぱで遊ぼう（2回）」「季節の花で押し花かざりを作ろう」

「針金アメンボを浮かせよう（2回）」「バランストンボを作ろう（2回）」「七夕飾りを作ろう」「カブトムシを捕まえて育ててみよう」「タネ模型を飛ばそう（2回）」「吹いてまわすコマを作ろう」「紙コップで工作しよう」「木の実でコマを作ろう（2回）」「お正月飾りを作ろう」「カブトムシの幼虫を大きく育てる方法を知ろう」「かんたん凧作り」「ハイドロカルチャーにチャレンジ」「おりがみで水族館をつくろう」を行った。

6 その他の事業

(1) 学校教育との連携

小中学校の校外学習への支援事業や学校教育における生活科、理科、総合的な学習の時間における環境学習など、ハード・ソフトの両面から学校教育の支援を図るとともに、各種研修の対応についても内容の充実を図った。

来館学校

幼稚園	73団体	延べ来館者	2,734人
小学校	84団体	延べ来館者	5,425人
中学校	1団体	延べ人数	4人
高等学校	1団体	延べ来館者	15人
特別支援学校他	2団体	延べ来館者	211人
大学・短期大学	3団体	延べ来館者	46人
合 計	164団体	延べ来館者	8,435人

(2) カブトムシの幼虫プレゼント(宮崎科学技術館との連携)

宮崎科学技術館のこどもの日無料開館に合わせ、科学技術館の受付にて「カブトムシの幼虫プレゼントチケット」を配布し、翌日、大淀川学習館にチケットを持参した子どもにカブトムシの幼虫（館にて産卵させ飼育したもの）をプレゼントした。

開催期日 平成28年5月4日（水・祝）

参加者数 延べ 子ども46人

(3) 子どものための音楽会（事務局経営戦略課事業）

協会が管理運営する6施設において、乳幼児とその保護者が気軽に参加できる演奏会を、地元アーティスト等による生演奏により開催した。各施設の文化・教育機関としての価値を高め、利用促進の機会とした。

期 日 ①平成28年11月17日（木）

②平成29年 2月16日（木）

内 容 ①エトヤンヤンヤン（歌、パーカッション、ピアノ）による演奏

②ゆりてるシアターによる人形劇

参加者数 ①子ども91人、大人95人 延べ 186人

②子ども84人、大人78人 延べ 162人

(4) 各種関係団体との連携 () 内は団体名

- | | | | | |
|--|-----|----------------|------|----------------------|
| ①伝統あるホタルかごを作ろう
(ホタル保存会) | 実施日 | 平成28年5月7日(土) | 入場者数 | 子ども 6人、大人 3人、計 9人 |
| ②アユの稚魚を放流しよう
(宮崎県内水面振興センター) | 実施日 | 平成28年5月8日(日) | 入場者数 | 子ども 32人、大人 40人、計 72人 |
| ③ホタル環境教室
(山崎エコアップ会(ホタル保存会)) | 実施日 | 平成28年5月14日(土) | 入場者数 | 子ども 13人、大人 14人、計 27人 |
| ④バスで行くオオムラサキ自然観察会
(宮崎昆虫同好会) | 実施日 | 平成28年6月25日(土) | 入場者数 | 雨天中止 |
| ⑤明りに集まる昆虫観察会
(宮崎昆虫同好会) | 実施日 | 平成28年7月9日(土) | 入場者数 | 子ども 18人、大人 27人、計 45人 |
| ⑥私たちのくらしと水の環境学習
(宮崎処理場) | 実施日 | 平成28年7月26日(火) | 入場者数 | 子ども 4人、大人 5人、計 9人 |
| ⑦水生生物調査
(国土交通省・共催) | 実施日 | 平成29年8月4日(木) | 入場者数 | 子ども 4人、大人 5人、計 9人 |
| ⑧大淀川でカヌーをしよう
(宮崎県カヌー協会、宮崎市カヌー協会、大宮高校教諭) | 実施日 | 平成28年8月27日(土) | 入場者数 | 子ども 8人、大人 9人、計 17人 |
| ⑨カラー魚拓を制作しよう
(色彩魚拓画会) | 実施日 | 平成28年12月11日(日) | 入場者数 | 子ども 5人、大人 3人、計 8人 |

(5) 情報提供と広報活動

I C T (情報通信技術) を積極的に活用し、S N S (ブログ、フェイスブック) を用いた情報提供や広報活動を行った。

宮崎市民プラザ

1 管理運営事業

平成28年度は、当協会が宮崎市民プラザの指定管理者として再指定を受けて3年目となる。管理運営については「公平・公正な管理運営」「満足度の高い管理運営」「安心・安全で効率的な管理運営」の3つの基本方針を定め、利用者サービス向上による利用者増対策に重点的に取り組むとともに、利用者が安全・快適に利用できるよう施設の管理運営を行った。

(1) 利用状況

開館日数	308日
入館者数	248,062人
1日平均入館者数	805人

(2) 利用内訳

・ ホール	入場者数	61,683人	(利用率 80.75%)
・ ギャラリー	入場者数	49,711人	(利用率 97.99%)
・ 練習室①	入場者数	13,730人	(利用率 86.04%)
・ 練習室②	入場者数	5,300人	(利用率 99.35%)
・ 大会議室	入場者数	18,649人	(利用率 96.05%)
・ 中会議室	入場者数	11,643人	(利用率 96.43%)
・ 小会議室①	入場者数	6,873人	(利用率 99.68%)
・ 小会議室②	入場者数	6,191人	(利用率 97.08%)
・ 和室	入場者数	6,408人	(利用率 94.48%)
・ 学習室	入場者数	6,272人	(利用率 89.61%)
・ プレイルーム/授乳室	入場者数	312人	
・ カフェクレーン	入場者数	7,102人	
・ エントランス	入場者数	6,790人	
・ 市民活動センター	入場者数	32,988人	
・ 団体室	入場者数	5,941人	
・ ホール(打合せ)	入場者数	486人	
・ ギャラリー(打合せ)	入場者数	26人	
・ 窓口受付	受付人数	7,862人	
・ 視察者等	24団体	95人	
	合計	248,062人	

2 自主事業

自主事業については、「創造・制作事業の実施」「普及・育成事業の実施」「鑑賞事業の実施」の3つの取組方針を定め、公益目的事業と地域活性化の更なる推進に重点的に取り組むとともに、施設の特徴を生かした事業を実施した。また、「市民プラザコンサート」に関しては今回で10回目の公演となるため、記念事業として取り組んだ。

(1) 企画推進委員会の実施状況

<p>第1回 平成29年3月16日(木) 宮崎市民プラザ 中会議室</p> <p>(1) 平成28年度宮崎市民プラザ自主事業の実施状況について</p> <p>(2) 平成29年度宮崎市民プラザ自主事業計画について</p>
--

(2) 自主事業実績

	事業名	開催日・場所等	入場料	入場者数
1	第10回記念 市民プラザコンサート	平成28年8月28日(日) オルブライトホール	入場券/1,000円 (当日1,200円)	471人
2	市民プラザ寄席 歌之介・歌春二人会	平成28年10月2日(日) オルブライトホール	一般/2,000円 (当日2,400円) 学生/1,000円 (当日1,200円)	506人
		桂歌春の落語教室(アウトリーチ) 平成28年11月14日(月) 宮崎港小学校6年生 古城小学校5・6年生	無料	54人 50人
3	宮崎・音のスケッチブック ～秋のヒーリングコンサート～	平成28年10月23日(日) オルブライトホール(雨天のため)	無料	198人
4	神尾真由子& ミロスラフ・クルティシエフ デュオ・リサイタル	平成28年10月26日(水) オルブライトホール	指定席/3,000円 (当日3,600円) 自由席一般/2,000円 (当日2,400円) 自由席学生/1,500円 (当日1,800円)	439人
5	子どものための 文化芸術体験プログラム (アウトリーチ事業)	平成28年11月15日(火) 文楽【伝統芸能プログラム】 宮崎東小学校5年生	無料	46人
		平成28年11月18日(金) 三曲合奏【邦楽プログラム】 綾小学校6年生	無料	69人
6	カントリーのロード ～青島に続く道～	平成29年2月25日(土) 26日(日) オルブライトホール	一般/2,000円 (当日2,400円) 学生/1,000円 (当日1,200円)	464人 437人
7	つくってあそぼ ファミリーコンサート	平成29年3月5日(日) 1回目 2回目 オルブライトホール	おとな/1,000円 (当日1,200円) こども/500円 (当日600円)	485人 385人
8	おでかけアートプログラム (アウトリーチ事業)	平成29年3月22日(水) 演劇の手法を使ったワークシ ョップ 小規模多機能型居宅介護施設 新栄ひばり	無料	12人
入場者数 合計				3,616人

3 その他の事業

子どものための音楽会（事務局経営戦略課事業）

協会が管理運営する6施設において、乳幼児とその保護者が気軽に参加できる演奏会を、地元アーティスト等による生演奏により開催した。各施設の文化・教育機関としての価値を高め、利用促進の機会とした。

開催期日 平成28年7月6日（水）

内 容 「みやだい音楽配達便」による演奏

参加者数 子ども257人、大人223人 延べ 480人